

〈解答欄〉

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

① — 線部の読みを書きなさい。

- ・ 雑巾ぞうきんを水に浸す。

② — 線部の読みを書きなさい。

- ・ 客を大勢家おごいけに招く。

③ — 線部の読みを書きなさい。

- ・ 荷物を部屋の隅すみに置く。

④ — 線部の読みを書きなさい。

- ・ 猫ねこの額ぬかほどの狭せまい土地。

⑤ — 線部の読みを書きなさい。

- ・ 先生の指示しじを仰ぐ。

⑥ — 線部の読みを書きなさい。

- ・ 乏乏しい経験けんけんを知識ちしきで補おぎなう。

⑦ — 線部の読みを書きなさい。

- ・ 大事な任務にんむを怠おろそかする。

⑧ — 線部の読みを書きなさい。

- ・ 話わしていると気が紛まれる。

⑨ — 線部の読みを書きなさい。

- ・ 首くびを垂たれた稲穂いなほ。

⑩ — 線部の読みを書きなさい。

- ・ さまざまな問題もんだいを抱かかえる。

02 漢字の書き①

- ① ー 線部を漢字に直しなさい。
 - ・ 会場に大きなカン声^{カン}が上がる。
- ② ー 線部を漢字に直しなさい。
 - ・ 画期的な説^{トナ}えをトナえる。
- ③ ー 線部を漢字に直しなさい。
 - ・ お金を銀行にアズける。
- ④ ー 線部を漢字に直しなさい。
 - ・ 自然の恩ケイ^{ケイ}を受ける。
- ⑤ ー 線部を漢字に直しなさい。
 - ・ 公園内の林を散サク^{サク}する。
- ⑥ ー 線部を漢字に直しなさい。
 - ・ 災害時に救助を要セ^セイする。
- ⑦ ー 線部を漢字と送り仮名で書きなさい。
 - ・ 全ては、審査員^{しんさ}の判断にユダネ^ルル。
- ⑧ ー 線部を漢字と送り仮名で書きなさい。
 - ・ 新たな任地^{にオモ}ムク。
- ⑨ ー 線部を漢字と送り仮名で書きなさい。
 - ・ 失敗の経験から自分をイマシメ^{メル}ル。
- ⑩ ー 線部を漢字と送り仮名で書きなさい。
 - ・ 危険な道を通るのはサケ^ルル。

〈解答欄〉

① じやんぱんか

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

03 漢字の知識

〈解答欄〉

①

②

③

成

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

- ① ー 線部の漢字の部首名を平仮名で答えなさい。
・ 説明を資料で補う。
- ② ー 線部の漢字の総画数を漢数字で答えなさい。
・ 南極の調査をする。
- ③ 次の漢字の筆順で一画目を示しなさい。
・ 成
- ④ 次の漢字と同じ部首のものをあとから一つ選びなさい。
・ 祈
ア 裕 イ 複 ウ 祖 エ 札
- ⑤ 次の漢字の、楷書で書いたときの総画数を、漢数字で答えなさい。
・ 起
- ⑥ 楷書で書いたときの総画数が同じものを二つ選びなさい。
ア 絹 イ 閉 ウ 祠 エ 想
- ⑦ 楷書で書いたときと行書で書いたときで、筆順が異なる漢字を一つ選びなさい。
ア 仏 イ 景 ウ 助 エ 厚
- ⑧ 行書の特徴に合うほうを選びなさい。
ア 点や画の連続や省略がある。
イ 点や画が直線的である。
- ⑨ 楷書で書いたときの総画数が、最も多いものを一つ選びなさい。
ア 梅 イ 組 ウ 筆 エ 記
- ⑩ 次の部首を含む漢字をあとから一つ選びなさい。
・ 木
ア 被 イ 禅 ウ 杵 エ 称

- ① — 線部に合う漢字をあとから選びなさい。
- ・パンイガイの食べ物を買う。
- ア 意外 イ 以外
- ② — 線部に合う漢字をあとから選びなさい。
- ・カセツの校舎に移る。
- ア 仮設 イ 仮説
- ③ — 線部に合う漢字をあとから一つ選びなさい。
- ・国が厳しくキセイする。
- ア 既成 イ 帰省 ウ 規制
- ④ — 線部に合う漢字をあとから選びなさい。
- ・心アタタまる話を聞く。
- ア 温 イ 暖
- ⑤ — 線部に合う漢字をあとから選びなさい。
- ・遅^ち刻したことをアヤマる。
- ア 誤 イ 謝
- ⑥ — 線部に合う漢字をあとから一つ選びなさい。
- ・島をつなぐ大きな橋がカがる。
- ア 架 イ 係 ウ 掛
- ⑦ — 線部に誤字があれば、正しく書き直しなさい。正しければ○を書きなさい。
- ・他人の言動に鑑^{かん}賞しすぎてはいけない。
- ⑧ — 線部に誤字があれば、正しく書き直しなさい。正しければ○を書きなさい。
- ・希少価値の高い鉱物が見つかった。
- ⑨ — 線部に誤字があれば、正しく書き直しなさい。正しければ○を書きなさい。
- ・朝早く目が冷めた。
- ⑩ — 線部に誤字があれば、正しく書き直しなさい。正しければ○を書きなさい。
- ・お墓に花を供える。

〈解答欄〉

① しんせいのく

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

〈解答欄〉

①

① 「寒暄」と同じ構成の熟語を一つ選びなさい。

ア 場所 イ 強風 ウ 無料 エ 売買

②

② 「登校」と同じ構成の熟語を一つ選びなさい。

ア 冷水 イ 洗顔 ウ 広場 エ 私立

③

③ 次の熟語のうち、構成が他と異なるものを一つ選びなさい。

ア 激流 イ 退席 ウ 下山 エ 読書

④

④ 次の熟語のうち、構成が他と異なるものを一つ選びなさい。

ア 減少 イ 貧弱 ウ 知的 エ 洗淨

⑤

⑤ 次の熟語のうち、主語＋述語の構成のものを一つ選びなさい。

ア 栄光 イ 円筒 ウ 地形 エ 国管

⑥

⑥ 次の熟語のうち、下が上の目的となる構成のものを一つ選びなさい。

ア 清潔 イ 不和 ウ 始業 エ 大国

⑦

⑦ 次の熟語のうち、重箱読み^①のものを一つ選びなさい。

ア 循環 イ 試合 ウ 青空 エ 雨具

⑧

⑧ 次の熟語のうち、湯桶^{ゆづ}読み^②のものを一つ選びなさい。

ア 外出 イ 手本 ウ 上着 エ 台所

⑨

⑨ 次の熟語に付いて三字熟語を作る共通の接頭語を答えなさい。

ア 意識 イ 関心 ウ 表情 エ 重力

⑩

⑩ 次の□に共通の漢字を入れて四字熟語を完成させなさい。

 { 無□夢中
□田引水

06 漢字の読み②

① 一 線部の読みを書きなさい。

- ・ 作品の使用を許諾する。

② 一 線部の読みを書きなさい。

- ・ 継続することが大事。

③ 一 線部の読みを書きなさい。

- ・ 日々を漫然と過ごす。

④ 一 線部の読みを書きなさい。

- ・ 人生の岐路に立つ。

⑤ 一 線部の読みを書きなさい。

- ・ 前日に旅行の支度をする。

⑥ 一 線部の読みを書きなさい。

- ・ 作業手順が煩雑になる。

⑦ 一 線部の読みを書きなさい。

- ・ 驚異の記録が出た。

⑧ 一 線部の読みを書きなさい。

- ・ 王に献上された品。

⑨ 一 線部の読みを書きなさい。

- ・ 坂道の傾斜を測る。

⑩ 一 線部の読みを書きなさい。

- ・ 厳格なルールを決める。

〈解答欄〉

①

じせんとく
ちせんとく

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

〈解答欄〉



①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

① — 線部を漢字に直しなさい。

- ・川のゲンリユウを探す。

② — 線部を漢字に直しなさい。

- ・適度なトウブンを攝取する。

③ — 線部を漢字に直しなさい。

- ・ゼンアクをわきまえる。

④ — 線部を漢字に直しなさい。

- ・花粉症にコウカがある薬。

⑤ — 線部を漢字に直しなさい。

- ・体育祭のエンキが決まる。

⑥ — 線部を漢字に直しなさい。

- ・センモンの研究分野。

⑦ — 線部を漢字に直しなさい。

- ・もっとカンタンに考えてみよう。

⑧ — 線部を漢字に直しなさい。

- ・身のケツパクを証明する。

⑨ — 線部を漢字に直しなさい。

- ・店に商品をノウニユウする。

⑩ — 線部を漢字に直しなさい。

- ・美術館に絵をテンジする。

① 次の□に漢字一字を入れ、慣用句を完成させなさい。

- ・ 楽しい^{勢い}囲気^{いき}に□をさすような批判。

② 次の□に漢字一字を入れ、慣用句を完成させなさい。

- ・ チームの調子がよいのに、私が□を引つ張るのは嫌^{いや}だ。

③ 次の□に漢字一字を入れ、慣用句を完成させなさい。

- ・ 過去のことは全て□に流そう。

④ 次の□に漢字一字を入れ、慣用句を完成させなさい。

- ・ 朝から歩きすぎて足が□になったよ。

⑤ 次の□に漢字一字を入れ、慣用句を完成させなさい。

- ・ 友達だからといって、いつでも□をもつとは限らない。

⑥ 「引き返すこと」を表す慣用句を一つ選びなさい。

- ア 煙^{けむり}にまぐ イ きびすを返す
ウ 手を切る エ 終止符を打つ

⑦ 「自慢^{ひま}すること」を表す慣用句を一つ選びなさい。

- ア 羽を伸ばす イ 火花を散らす
ウ 目がくらむ エ 鼻にかける

⑧ — 線部の慣用句の使い方が正しいほうを選びなさい。

- ア 自分が失敗したことが身につまされる。
イ 皆の功績だが今回は彼に花を持たせることにしよう。

⑨ — 線部の慣用句の使い方が正しいほうを選びなさい。

- ア 弟のいたずらに、母はいつも手を焼く。
イ すすめの涙を流すほど、悲しい物語。

⑩ — 線部の慣用句の使い方が正しいほうを選びなさい。

- ア 彼の段取りのよさには、舌を巻くよ。
イ 二人は、どんな場面でも仲良くしのぎをけする。

〈解答欄〉

① ちしほもたら
る

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

〈解答欄〉

①

□

②

□

③

□

④

□

⑤

□

⑥

□

⑦

□

⑧

□

⑨

□

⑩

□

① 次の□に漢字一字を入れ、ことわざを完成させなさい。

- ・まかぬ□は生えぬ

意味 (何もしないで良い結果は得られない。)

② 次の□に漢字一字を入れ、ことわざを完成させなさい。

- ・□の上にも三年

意味 (しんぼうしていれば、いつかは成功する。)

③ 次の□に漢字一字を入れ、ことわざを完成させなさい。

- ・のれんに□押し

意味 (何の手応えもないこと。)

④ 次の□に漢字一字を入れ、ことわざを完成させなさい。

- ・灯台下□し

意味 (身近なことほど、かえってわかりにくいこと。)

⑤ — 線部のことわざの使い方が正しいほうを選びなさい。

ア 一刻も早く用事を終え、急がば回れで家に帰る。イ 日ごろの災害への備えが転ばぬ先のつえとなる。

⑥ — 線部のことわざの使い方が正しいほうを選びなさい。

ア 成績が悪かったのは、怠けていた身から出たさびだ。イ 練習方法を変えたため効果が上がり、焼け石に水だ。

⑦ 「取り越し苦労」の意味を表す故事成語を一つ選びなさい。

ア 推敲 イ 圧巻 ウ 杞憂 エ 螢雪の功

⑧ 「周りがみな敵であること」の意味を表す故事成語を一つ選びなさい。

ア 四面楚歌 イ 蛇足 ウ 完璧 エ 背水の陣

⑨ 次の□に漢字一字を入れ、故事成語を完成させなさい。

- ・漁□の利

意味 (二者が争う最中に第三者が利益を横取りすること。)

⑩ 次の□に漢字一字を入れ、故事成語を完成させなさい。

- ・塞翁が□

意味 (人生の幸不幸は、予測できない。)

10 語句の意味

- ① — 線部の語の類義語をあとから選びなさい。
・科学の進歩が、未来の生活をもたらす。
ア 退歩 イ 向上 ウ 進入 エ 進化
- ② — 線部の語の類義語をあとから選びなさい。
・彼女から意外な答えが返ってきた。
ア 意表 イ 除外 ウ 極意 エ 案外
- ③ — 線部の語の対義語を答えなさい。
・困難な問題に立ち向かう。
- ④ — 線部の語の対義語を答えなさい。
・私的な用途に使う。
- ⑤ — 線部の語と同じ意味のほうをあとから選びなさい。
・扉に表札をかける。
ア 友人に電話をかける。 イ 絵を壁にかける。
- ⑥ — 線部の語と同じ意味のほうをあとから選びなさい。
・彼に対する信頼は厚い。
ア 父は情に厚い人だ。 イ たいへん厚い辞書。
- ⑦ 「ぞんざい」を正しく使っているほうを選びなさい。
ア 父にぞんざいな口をきいて叱られる。
イ ぞんざいな仕事ぶりだと、ほめられる。
- ⑧ 「失笑する」を正しく使っているほうを選びなさい。
ア 彼女はいつも冷たく失笑する。
イ 式典の最中に思わず失笑する。
- ⑨ — 線部の語の意味として正しいものを一つ選びなさい。
・計画変更を余儀なくされる。
ア 許される イ 頼まれる ウ 強いられる
- ⑩ — 線部の語の意味として正しいものを一つ選びなさい。
・弟がどこへ行ったのか、皆目わからない。
ア いつも イ 全く ウ 誰も

〈解答欄〉

① してあげよう

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

〈解答欄〉

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

- ① — 一線部の読みを書きなさい。
 ・国際社会に向けて警鐘を鳴らす。
- ② — 一線部の読みを書きなさい。
 ・緩慢な動きを見せる。
- ③ — 一線部の読みを書きなさい。
 ・祖父は寡黙な人だった。
- ④ — 一線部の読みを書きなさい。
 ・肥沃な土地を農業に生かす。
- ⑤ — 一線部の読みを書きなさい。
 ・試合の結果は惜敗だった。
- ⑥ — 一線部の読みを書きなさい。
 ・お互いが譲歩する。
- ⑦ — 一線部の読みを書きなさい。
 ・助命を嘆願する。
- ⑧ — 一線部の読みを書きなさい。
 ・感慨深い話を聞く。
- ⑨ — 一線部の読みを書きなさい。
 ・草木が繁茂する広い庭。
- ⑩ — 一線部の読みを書きなさい。
 ・寸暇を惜しんで勉学に励む。

12 漢字の書き③

- ① — 線部を漢字に直しなさい。
 - ・チームのフンキに期待する。
- ② — 線部を漢字に直しなさい。
 - ・決勝戦では大いにゼンセンした。
- ③ — 線部を漢字に直しなさい。
 - ・病気のチヨウコウは見えない。
- ④ — 線部を漢字に直しなさい。
 - ・別のブシヨに移る。
- ⑤ — 線部を漢字に直しなさい。
 - ・遠くでライメイがとどろく。
- ⑥ — 線部を漢字に直しなさい。
 - ・会議での対立はヒツシである。
- ⑦ — 線部を漢字に直しなさい。
 - ・特^{とく}殊^{しゆ}な機械をソウジユウする。
- ⑧ — 線部を漢字に直しなさい。
 - ・腕^{うで}前^{まへ}をハツキする。
- ⑨ — 線部を漢字に直しなさい。
 - ・事務を適切にシヨリする。
- ⑩ — 線部を漢字に直しなさい。
 - ・ゲンスン大の模型を作る。

〈解答欄〉

①	<input type="checkbox"/>
②	<input type="checkbox"/>
③	<input type="checkbox"/>
④	<input type="checkbox"/>
⑤	<input type="checkbox"/>
⑥	<input type="checkbox"/>
⑦	<input type="checkbox"/>
⑧	<input type="checkbox"/>
⑨	<input type="checkbox"/>
⑩	<input type="checkbox"/>

じやうごう

〈解答欄〉

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

① 次の文を文節に分け、初めから三つ目の文節を答えなさい。

- ・旅行者に道を尋ねられたので、教えてあげた。

② 次の文を文節に分け、初めから三つ目の文節を答えなさい。

- ・冷たい水ですっかりと手を洗う。

③ 次の文を文節に分けるといくつになりますか。漢数字で答えなさい。

- ・小さい頃に住んでいた家がまだ残っている。

④ 次の文を文節に分けるといくつになりますか。漢数字で答えなさい。

- ・天気予報では、明日は雨になると言っていた。

⑤ 次の文のうち、文節で分けたほうを選びなさい。

ア 広場に一人が一集まった。

イ 広場一に一人一が一集まつた。

⑥ 次の文を単語に分け、初めから三つ目の単語を答えなさい。

- ・父はときどき登山に出かける。

⑦ 次の文を単語に分けるといくつになりますか。漢数字で答えなさい。

- ・ようやく仕事が片付きそうだ。

⑧ 次の文のうち、単語で分けたほうを選びなさい。

ア 特に一補足する一ことも一ない。

イ 特に一補足する一こと一も一ない。

⑨ — 線部に共通する呼び名をあとから一つ選びなさい。

- ・彼は、常に正しい答えにたどりつける。

ア 名詞 イ 用言 ウ 自立語

⑩ 次の文から付属語を全てそのまま抜き出しなさい。

- ・体育館でバスケットボールをした。

- ① 次の文の□に入る適切な語を答えなさい。
言葉の単位では、文節は□を構成する要素であり、文節を構成する要素が単語である。
- ② 次の文の□に入る適切な語を答えなさい。
単語には、自立語と付属語があり、一つの文節には、自立語が必ず□あり、必ず文節の最初にくる。
- ③ 次の文の□に入る適切な語を答えなさい。
複数の文節がつながって一文節のような働きをするものを□という。
- ④ 次の——線部が文節のときは○を、単語のときは△を、どちらでもないときは×を書きなさい。
・小川がさらさらと流れています。
- ⑤ 次の——線部が文節のときは○を、単語のときは△を、どちらでもないときは×を書きなさい。
・新しい靴を買いました。
- ⑥ 次の文を単語に分け、初めから五つ目の単語を答えなさい。
・かなり以前から橋の修復工事が行われている。
- ⑦ 次の文を単語に分けた数から、文節に分けた数を引くと、いくつになりますか。漢数字で答えなさい。
・まもなく、次の電車がホームに入ってくる。
- ⑧ 次の文のうち、単語で分けたほうを選びなさい。
ア 犬一と一猫一なら、一どちら一が一好きです一か。
イ 私は一猫を一二匹一飼って一います。
- ⑨ ——線部に共通する呼び名をあとから一つ選びなさい。
・妹は母の手伝いをよくする。
ア 文節 イ 付属語 ウ 体言
- ⑩ 次の文から自立語を全てそのまま抜き出しなさい。
・雨が降り続けている。

〈解答欄〉

① ここで単語を書く

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

〈解答欄〉

①

①

① 次の——線部の文の成分をあとから一つ選びなさい。

・あの、ゆつくり歩いている人が、私の母です。

ア 述語 イ 修飾語 ウ 主語

②

② 次の——線部の文の成分をあとから一つ選びなさい。

・楽しい時間は、早く過ぎてしまう。

ア 修飾語 イ 主語 ウ 接続語

③

③ 次の——線部の文の成分をあとから一つ選びなさい。

・あの、この辺りに郵便局はありませんか。

ア 主部 イ 独立語 ウ 修飾語

④

④ 次の文から主語を抜き出さない。

・たくさんの応援が私の励みになった。

⑤

⑤ 次の文から述語を抜き出さない。

・温かいスープを少し飲みました。

⑥

⑥ 次の文から修飾語を全て抜き出さない。

・公園に鳩がたくさんいる。

⑦

⑦ 次の文から接続語を抜き出さない。

・楽しかったので、また行きたい。

⑧

⑧ 次の——線部の主語に対する述語を抜き出さない。

・弟は好プレイをしたが、チームは敗退した。

⑨

⑨ 次の——線部の主語に対する述語を抜き出さない。

・私は今日、友達が話していた店に行った。

⑩

⑩ 次の——線部の述語に対する主語を抜き出さない。

・先生の呼ぶ声が、かすかに聞こえた。

16 文の成分②

- ① 次の——線部の文の成分をあとから一つ選びなさい。
・厚着をして出かけるほうが、私は安心だ。
ア 述部 イ 修飾部 ウ 主部
- ② 次の——線部の文の成分をあとから一つ選びなさい。
・力を合わせて頑張ったので、優勝することができた。
ア 述部 イ 主部 ウ 接続部
- ③ 次の——線部の文の成分をあとから一つ選びなさい。
・ぼくの宝物、それは自転車だ。
ア 独立部 イ 主部 ウ 修飾部
- ④ 次の——線部の述語に対する主部を抜き出しなさい。
・晴れた日が数日間続いた。
- ⑤ 次の——線部の主部に対する述部を抜き出しなさい。
・私の父は、熱心に英会話教室に通っている。
- ⑥ 次の文から修飾部を抜き出しなさい。
・花がとても美しく咲いた。
- ⑦ 次の文から接続部を抜き出しなさい。
・失敗を繰り返したが、挑戦はやめない。
- ⑧ 次の文から主部を抜き出しなさい。
・妹と私だけ、その意見に反対した。
- ⑨ 主語のないほうの文を選びなさい。
ア どちらかと言えば、国語が好きだ。
イ 公園清掃に、私も参加したいと思う。
- ⑩ 主語のないほうの文を選びなさい。
ア おいしいな、このケーキは。
イ 昨日は、祭り見物に出かけた。

〈解答欄〉

① ちてはまらろク

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

〈解答欄〉

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

① — 線部どうしが主・述の関係にあるほうを選びなさい。

ア 美しい音楽が、どこからか流れてくる。イ 兄の友人で、野球選手を目指している人がある。

② 次の文の — 線部どうしの関係をあとから選びなさい。

・ 公園で、子どもが元気に遊んでいる。

ア 主・述の関係 イ 修飾・被修飾の関係

③ 次の文の — 線部どうしの関係をあとから選びなさい。

・ 寒いので、コートを着た。

ア 並立の関係 イ 補助の関係 ウ 接続の関係

④ 次の文の — 線部どうしの関係をあとから選びなさい。

・ 父が椅子に座つている。

ア 並立の関係 イ 補助の関係 ウ 接続の関係

⑤ 次の文の — 線部どうしの関係をあとから選びなさい。

・ 犬は一般に、利口で従順だ。

ア 並立の関係 イ 補助の関係 ウ 接続の関係

⑥ 次の文から連体修飾語を抜き出さなさい。

・ 澄んだ空気が星を美しく見せる。

⑦ 次の文から連用修飾語を抜き出さなさい。

・ 私の妹は、楽しそうに歌う。

⑧ — 線部が修飾している文節を抜き出さなさい。

・ ビルの屋上から、町の全体を見渡せる。

⑨ — 線部が修飾している文節を抜き出さなさい。

・ 太い柱に美しい装飾が施された。

⑩ — 線部が連文節であるほうを選びなさい。

ア 多くの人々がテレビで野球の試合を見た。イ 私の祖父は、釣りがとても好きだ。

- ① — 線部が名詞であるほうを選びなさい。
 ア ある日の出来事を思い出す。
 イ 外に出て、風の強さに驚く。
- ② — 線部が動詞であるほうを選びなさい。
 ア 水の流に逆らって泳ぐ魚。
 イ 君が転校したら、寂しくなる。
- ③ 次の文の — 線部の品詞をあとから選びなさい。
 ・せつかく来たのに、定休日だなんて。
 ア 動詞 イ 副詞 ウ 形容詞 エ 接続詞
- ④ 次の文の — 線部の品詞をあとから選びなさい。
 ・大きな木の下で休憩した。
 ア 副詞 イ 形容動詞 ウ 連体詞 エ 名詞
- ⑤ 次の文の — 線部の品詞をあとから選びなさい。
 ・犬または猫を飼う家庭が増えている。
 ア 名詞 イ 形容詞 ウ 接続詞 エ 感動詞
- ⑥ 次の文の — 線部の品詞を答えなさい。
 ・子どもたちが元気に遊んでいる。
- ⑦ 次の文の — 線部の品詞を答えなさい。
 ・あの、ちよつとうかがいますが。
- ⑧ 次の文から活用する自立語を全てそのまま抜き出しなさい。
 い。
 ・天気がよいので、父は散歩に出かけた。
- ⑨ 次の文から活用しない自立語を全てそのまま抜き出しなさい。
 い。
 ・山の木々がすっかり色づいている。
- ⑩ — 線部と同じ品詞の単語を一つそのまま抜き出しなさい。
 い。
 ・国語を学ぶのに、良質の読書は欠かせない。

〈解答欄〉

① しつぽん

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

〈解答欄〉

①

① ー 線部が付属語であるほうを選びなさい。

ア 新しい服を着て出かける。

イ 雨が降ったら、試合は中止だ。

②

② ー 線部が付属語であるほうを選びなさい。

ア 家から駅まで数分で行ける。

イ 姉の誕生日のプレゼントを買う。

③

③ 次の文のー 線部の品詞をあとから選びなさい。

・美しい絵画を展示した美術館。

ア 動詞 イ 名詞 ウ 形容詞 エ 助詞

④

④ 次の文のー 線部の品詞をあとから選びなさい。

・先生が来られる前に授業の準備をする。

ア 副詞 イ 助動詞 ウ 連体詞 エ 名詞

⑤

⑤ 次の文のー 線部の品詞をあとから選びなさい。

・心配することは何もない。

ア 名詞 イ 形容詞 ウ 助詞 エ 接続詞

⑥

⑥ 次の文のー 線部の品詞を答えなさい。

・たとえ失敗しても諦めない。

⑦

⑦ 次の文のー 線部の品詞を答えなさい。

・みんなが知らない楽しさがある。

⑧

⑧ 次の文のー 線部の中で、一つだけ違う品詞のものを選
びなさい。・電車^アに乗っ^イて買^ウい物^エに出^エかけた。

⑨

⑨ 次の文のー 線部の中で、一つだけ違う品詞のものを選
びなさい。・^アやがて、^イとても^ウ小さな声で^エそととささやいた。

⑩

⑩ 次の文から形式動詞（補助動詞）をそのまま抜き出しなさい。

・妹は、うさぎをとともかわいがっている。

- ① 次の文の——線部の意味をあとから一つ選びなさい。
 ・先生に声をかけられる。
 ア 受け身 イ 可能 ウ 自発 エ 尊敬
- ② 次の文の——線部の意味をあとから一つ選びなさい。
 ・将来のことが案じられる。
 ア 受け身 イ 可能 ウ 自発 エ 尊敬
- ③ ——線部と同じ意味用法のほうをあとから選びなさい。
 ・彼は数学が得意だといえそうだ。
 ア 雨が降るそうだ。 イ 雨が降りそうだ。
- ④ ——線部と同じ意味用法のほうをあとから選びなさい。
 ・姉は海外に留学するつもりらしい。
 ア 明日は雨らしい。 イ いかにも春らしい。
- ⑤ ——線部と同じ意味用法のほうをあとから選びなさい。
 ・高いビルがそびえ立つオフィス街。
 ア 歩いたがつかれなかった。 イ ぼくが話そう。
- ⑥ ——線部の意味用法が他と違うものを一つ選びなさい。
 ア 今から始まるようだ。 イ 夜、雨が降るようだ。
 ウ 今は外出中のようだ。 エ まるで鳥のようだ。
- ⑦ ——線部の意味用法が他と違うものを一つ選びなさい。
 ア 弟の友達に会う。 イ 母の自転車がある。
 ウ 弟の呼ぶ声がする。 エ 母の仕事は休みだ。
- ⑧ ——線部の意味用法が同じものを二つ選びなさい。
 ア 夜になると眠くなる。 イ 君と再会できるとは。
 ウ 「はい」と返事する。 エ 友達と出かける。
- ⑨ ——線部の意味用法が同じものを二つ選びなさい。
 ア 電車が駅に着く。 イ すぐに始まります。
 ウ 会場に集まる。 エ 静かにしている。
- ⑩ 「さらに歩き続ける。」の「に」を説明した次の文の□に入る適切な品詞を答えなさい。
 ・「さらに」は全体で□であり、「に」は単語ではない。

〈解答欄〉

① ではもうク

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

〈解答欄〉

①

① 次の文の——線部の品詞をあとから一つ選びなさい。

・今は時間がない。

ア 助動詞 イ 形容詞 ウ 補助形容詞

②

② 次の文の——線部の品詞をあとから一つ選びなさい。

・問題が解けない。

ア 助動詞 イ 補助形容詞 ウ 形容詞の一部

③

③ 次の文の——線部の品詞をあとから一つ選びなさい。

・彼の答えは正しくない。

ア 助動詞 イ 形容詞の一部 ウ 補助形容詞

④

④ 次の文の——線部の品詞をあとから一つ選びなさい。

・弟が退屈そうに、つまらないと言う。

ア 形容詞の一部 イ 助動詞 ウ 補助形容詞

⑤

⑤ 次の文の——線部の品詞をあとから一つ選びなさい。

・妹がうれしそうに話す。

ア 格助詞 イ 副詞の一部 ウ 助動詞の一部

⑥

⑥ 次の文の——線部の品詞をあとから一つ選びなさい。

・ケーキの表面を滑らかに仕上げる。

ア 格助詞 イ 形容動詞の活用語尾 ウ 副詞

⑦

⑦ 次の文の——線部の品詞をあとから一つ選びなさい。

・試合は引き分けに終わった。

ア 副詞の一部 イ 格助詞 ウ 助動詞の一部

⑧

⑧ ——線部の意味用法が他と違うものを一つ選びなさい。

ア 文章が書けない。 イ 声が届かない。ウ ぼくは行かない。 エ ここで遊ぶと危ない。

⑨

⑨ ——線部の意味用法が他と違うものを一つ選びなさい。

ア 今日は出かけない。 イ 速くは走れない。ウ まだ眠くない。 エ 電話がこない。

⑩

⑩ ——線部の意味用法が他と違うものを一つ選びなさい。

ア 外で元気に遊ぶ。 イ 図書館に行く。ウ 車は西に向かう。 エ 失敗に終わる。

22 用言の活用

- ① 次の文の——線部の動詞の活用形を答えなさい。
 - ・ いっしょに学校へ行こう。
- ② 次の文の——線部の動詞の活用形を答えなさい。
 - ・ じっくり考えて理解することができる。
- ③ 次の文の——線部の動詞の活用形を答えなさい。
 - ・ 朝早く起きて砂浜を散策する。
- ④ 次の文の——線部の形容詞の活用形を答えなさい。
 - ・ 多ければ多いほどよい。
- ⑤ 次の文の——線部の形容動詞の活用形を答えなさい。
 - ・ 形式的な説明をする。
- ⑥ 次の文の——線部の動詞の活用の種類を答えなさい。
 - ・ 雲間から月が現れる。
- ⑦ 次の文の——線部の動詞の活用の種類を答えなさい。
 - ・ 計画通りに実行することができる。
- ⑧ 次の文の——線部の動詞の活用の種類を答えなさい。
 - ・ 厳しい鍛錬を強める。
- ⑨ 次の文の——線部の動詞の活用の種類を答えなさい。
 - ・ 向こうから友人が歩いてくる。
- ⑩ 次の文の——線部の動詞の活用の種類を答えなさい。
 - ・ 見て感じたことを、自分の言葉で言い表す。

〈解答欄〉

①	<input type="checkbox"/>
②	<input type="checkbox"/>
③	<input type="checkbox"/>
④	<input type="checkbox"/>
⑤	<input type="checkbox"/>
⑥	<input type="checkbox"/>
⑦	<input type="checkbox"/>
⑧	<input type="checkbox"/>
⑨	<input type="checkbox"/>
⑩	<input type="checkbox"/>

しつもん
ク

〈解答欄〉



①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

① に適語を入れ、尊敬語の説明を完成させなさい。

- ・ある人の動作などを 言うことで、その人に対する敬意を表す敬語。

② に適語を入れ、謙讓語の説明を完成させなさい。

- ・自分や自分の側の人の動作などを 言うことで、相手に対する敬意を表す敬語。

③ に適語を入れ、丁寧語の説明を完成させなさい。

- ・話し方を にすることで、相手に対する敬意を表す敬語。

④ — 線部を敬語に直したものをあとから一つ選びなさい。

- ・先生がもうじき来る。

ア 参る イ うかがう ウ いらつしやる

⑤ — 線部を敬語に直したものをあとから一つ選びなさい。

- ・明日は母が来ます。

ア いらつしやい イ 参り ウ 来られ

⑥ — 線部を敬語に直したものをあとから一つ選びなさい。

- ・お客様を会場に案内する。

ア ご案内する イ ご案内になる ウ うかがう

⑦ — 線部の敬語が正しいほうを選びなさい。

- ア こちらでお待ちしてください。

イ 手さげぶくろをお使いになりますか。

⑧ — 線部の敬語が正しいほうを選びなさい。

- ア 私が父に代わって申し上げます。

イ 妹が道をお尋ねになる。

⑨ に入る敬語をあとから一つ選びなさい。

- ・先生は何を ますか。

ア お食べし イ めし上がり ウ いただき

⑩ に入る敬語をあとから一つ選びなさい。

- ・私が先生に ます。

ア お伝えになり イ お伝えし ウ 伝えさせ

- ① 一線部の読みを書きなさい。
・今日はまさに行楽日和です。
- ② 一線部の読みを書きなさい。
・母が小豆をにている。
- ③ 一線部の読みを書きなさい。
・ぼくには心地よい居場所が必要だ。
- ④ 一線部の読みを書きなさい。
・祖母が足袋をはいている。
- ⑤ 一線部の読みを書きなさい。
・旅行の土産をあれこれ考える。
- ⑥ 一線部の読みを書きなさい。
・迷子を知らせる放送が流れる。
- ⑦ 一線部の読みを書きなさい。
・兄と相撲をとる。
- ⑧ 一線部の読みを書きなさい。
・木綿の肌着を買う。
- ⑨ 一線部の読みを書きなさい。
・サッカー場に芝生を植える。
- ⑩ 一線部の読みを書きなさい。
・五月雨が降り続く季節。

〈解答欄〉

① じせんとく

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

〈解答欄〉

①

- ① — 線部を漢字に直しなさい。
 ・ 外交政策のユクエを見守る。

②

- ② — 線部を漢字に直しなさい。
 ・ 強敵が相手の試合にカンシヨウした。

③

- ③ — 線部を漢字に直しなさい。
 ・ 犬がシツポを振る。

④

- ④ — 線部を漢字と送り仮名で書きなさい。
 ・ 事業の成功をアヤブム声もある。

⑤

- ⑤ — 線部を漢字と送り仮名で書きなさい。
 ・ ひそかに学者をココロザス。

⑥

- ⑥ — 線部を漢字に直しなさい。
 ・ ごみのシユウシユウのための車が通る。

⑦

- ⑦ — 線部を漢字に直しなさい。
 ・ ヒンカクが備わった人物。

⑧

- ⑧ — 線部を漢字と送り仮名で書きなさい。
 ・ ヤサシイ問題を先に解く。

⑨

- ⑨ — 線部を漢字と送り仮名で書きなさい。
 ・ 我が子のスコヤカな成長を願う。

⑩

- ⑩ — 線部を漢字に直しなさい。
 ・ 日本海エンガンの漁業。

26 表現

- ① 別のものにたとえて表す表現技法を、まとめて何といいますか、答えなさい。
- ② 形や意味などが対応関係にある二つを並べて示す表現技法を何といいますか、答えなさい。
- ③ 印象を強めるため、語の順を本来とは逆にする表現技法を何といいますか、答えなさい。
- ④ 言外の意味や感情などを読者に感じとらせるために、一部分をはぶく表現技法を何といいますか、答えなさい。
- ⑤ 次の文に見られる表現技法をあとから一つ選びなさい。
・何といつても、春の花といえば桜。
ア 反復法 イ 体言止め ウ 擬人法
- ⑥ 次の文に見られる表現技法をあとから一つ選びなさい。
・雪をかきわけて、力強く踏^ふみしめ、また、踏みしめる。
ア 暗喩（隠喩） イ 体言止め ウ 反復法
- ⑦ 次の文に見られる表現技法をあとから一つ選びなさい。
・まるで鳥のように空を飛ぶ。
ア 暗喩（隠喩） イ 直喩 ウ 反復法
- ⑧ 次の文に見られる表現技法をあとから一つ選びなさい。
・風のささやきを、聞くともなく聞いている。
ア 擬人法 イ 直喩 ウ 体言止め
- ⑨ 次の文に見られる表現技法をあとから一つ選びなさい。
・彼女は、ひまわりの笑顔で応えた。
ア 擬人法 イ 直喩 ウ 暗喩（隠喩）
- ⑩ 次の文に見られる表現技法を答えなさい。
・彼には想像もつくまい、私がここにいることなど。

〈解答欄〉

①	<input type="checkbox"/>
②	<input type="checkbox"/>
③	<input type="checkbox"/>
④	<input type="checkbox"/>
⑤	<input type="checkbox"/>
⑥	<input type="checkbox"/>
⑦	<input type="checkbox"/>
⑧	<input type="checkbox"/>
⑨	<input type="checkbox"/>
⑩	<input type="checkbox"/>

ちてあはら
ク

〈解答欄〉



①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

- ① 短歌の句切れについて次の□に適語を入れなさい。
- ・一首の中での意味上の切れ目にあたる。□の打てる場所が句切れとなる。
- ② 短歌で、最初の句の後に句切れがあるものを何といいますか。答えなさい。
- ③ 短歌で、一首の中に意味の切れ目がないものを何といいますか。答えなさい。
- ④ 次の短歌の句切れを答えなさい。
- ・街をゆき子供の傍そばを通る時蜜柑みかんの香せり冬がまた来る
- ⑤ 次の短歌の句切れを答えなさい。
- ・いつしかに春の名残となりこころにけり昆布干場ほしほのたんぽぽの花
- ⑥ 俳句の句切れについて次の□に適語を入れなさい。
- ・短歌と同じように俳句にも句切れがあるが、句の途中で切れるものを□という。
- ⑦ 俳句の基本の形式よりも音数が多いものを何といいますか。答えなさい。
- ⑧ 次の俳句から切れ字を抜き出しなさい。
- ・閑しずかさや岩にしみ入る蟬せみの声
- ⑨ 季語の例として挙げた次の言葉の、共通して表す季節を答えなさい。
- (柿・すすき・コスモス・天の川)
- ⑩ 次の俳句から季語を抜き出しなさい。
- ・朝顔あさごにつるべ取られてもらひ水

- ① 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
- ・感にたぐざるにやと覺おぼしくて
- ② 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
- ・今度は中差なみさし取つてうちくはせ
- ③ 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
- ・よろづの事につかひけり
- ④ 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
- ・翁おきなやうやう豊かになりゆく
- ⑤ 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
- ・和歌こそなほをかききものなれ
- ⑥ 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
- ・神へまゐるこそ本意なれと思ひて
- ⑦ 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
- ・春なくゆゑこそはあらめ
- ⑧ 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
- ・こなたに向きてあたれば、顔も見えず
- ⑨ 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
- ・黒き髪かみのすぢふとき
- ⑩ 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
- ・いづれもめでたきを見奉たごるに

〈解答欄〉

① ちてはまはら

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

〈解答欄〉



①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

① 仮名遣いについて、次の□に適語を入れなさい。

- ・歴史的仮名遣いの「くわぐわ」を現代仮名遣いに直すと「□が」となる。

② 仮名遣いについて、次の□に適語を入れなさい。

- ・歴史的仮名遣いの「あう (au)」を現代仮名遣いに直すと「□(o)」となる。

③ 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

- ・くぐわつ (九月) ばかり、夜一夜降り明かしつる雨の

④ 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

- ・我が国の神明、につくわう (日光) の権現

⑤ 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

- ・いみじうをかし

⑥ 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

- ・白き玉を貫きたるやうなるこそ

⑦ 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

- ・六波羅のにふだう (入道)

⑧ 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

- ・首の骨をひやうぶつと射て

⑨ 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

- ・へうはく (漂泊) の思ひやます

⑩ 次の——線部を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

- ・こうみやう (功名) 一時の叢となる

30 漢文の知識

- ① 漢文の訓読について、次の□に適語を入れなさい。
 - ・ 返り点には、一字前に戻る□と二字以上に戻る一・二点などがある。
- ② 漢文の訓読について、次の□に適語を入れなさい。
 - ・ 訓読の送り仮名は、□(助詞・助動詞)や用言の活用語尾などを歴史的仮名遣いで、かたかなで示したもの。
- ③ 漢文の訓読について、次の□に適語を入れなさい。
 - ・ 書き下し文とは、訓読した文を、漢字と仮名で表し、日本の□のような形にしたもの。
- ④ 次の漢文に返り点を付けて、()の書き下し文と同じ内容にしなさい。
 - ・ 眷^ス之^ヲ曰^{ハク}(之^を眷^{めて}曰^{はく})
- ⑤ 次の漢文に返り点を付けて、()の書き下し文と同じ内容にしなさい。
 - ・ 莫^キ能^ク陷^ス也(能^く陷^すもの莫^き也)
- ⑥ 次の漢文に返り点を付けて、()の書き下し文と同じ内容にしなさい。
 - ・ 有^リ朋^自遠^方来^{タル}(朋^有り遠^方自^り来^たる)
- ⑦ 次の——線部を書き下し文に直しなさい。
 - ・ 感^ハ時^ニ花^ニ濺^キ涙^ヲ
- ⑧ 漢詩について、次の□に適語を入れなさい。
 - ・ 漢詩の形式には絶句と律詩があり、四句(四行)からなるものが□である。
- ⑨ 漢詩について、次の□に適語を入れなさい。
 - ・ 一句が五字から成るか、七字から成るかで呼び方が変わる。一句が七字で八句から成る詩を□という。
- ⑩ 次の漢文から置き字を抜き出しなさい。
 - ・ 是^ヲ謂^フ過^ト矣(是^を過^ちと謂^ふ)

〈解答欄〉

① □ てしほんたふク

② □

③ □

④ 眷^ス之^ヲ曰^{ハク} □

⑤ 莫^キ能^ク陷^ス也 □

⑥ 有^リ朋^自遠^方来^{タル} □

⑦ □

⑧ □

⑨ □

⑩ □